

## 防災メモ

### 火山活動解説資料の見方

火山活動解説資料は、前月の東北地方の火山の活動状況を評価し公表するための資料です。掲載している図表は、火山活動の状況の説明をより分かり易くするためのものです。

#### 1. 活動一覧(日別)

地震回数、噴煙高度などの複数の観測データグラフを時系列的に並べています。過去にさかのぼり多種目のグラフを並べて見ることで、火山活動の状況を総合的に判断することができます。

##### (1) 火山性地震回数グラフ

ある一定の基準(振幅など)を火山毎に定め、基準に達した地震回数を数えています。火山性地震は、火山体及びその近傍で発生する地震の名称で、地下で火山活動に関連する破壊活動が起きて発生すると考えられています。

長年の地震回数グラフを見ることで、その火山の平常時の地震回数を把握することができます。また、地震回数が増加した場合には、過去の増加時と比較して現状を判断するとともに活動の推移を見極めます。

##### (2) 火山性微動回数グラフ

火山性地震回数と同様にある一定の基準(振幅、継続時間など)を火山毎に定め、基準に達した微動回数を数えています。火山性微動は、地下のマグマやガス、熱水など流体の移動や振動が原因と考えられており、火山活動を評価するための重要な観測項目の一つです。

##### (3) 噴気高度グラフ

火口から立ち上がる噴気の高さは、火口の熱活動を知る手がかりの一つです。活動一覧のグラフでは日最大噴気高度を表示しています。噴気の見かけの高さは、風、気温、湿度など気象の影響を大きく受けます。なお、噴火した場合には、噴煙の高さが表示されます。

#### 2. GPS 基線長変化図

仙台火山監視・情報センターでは、吾妻山、安達太良山、磐梯山に GPS 観測装置を設置し火山活動に伴う地殻変動を観測しています。最近では 2000 年の有珠山、三宅島の噴火で大きな地殻変動が観測され、火山活動の評価を行う上で重要なデータになりました。しかし、GPS 観測データには、火山活動に伴う地殻変動以外にも季節変動など様々な誤差が含まれているので、その他の観測項目のデータと併せて総合的に判断する必要があります。

なお、解説資料に掲載している基線長グラフは 2 観測点間の距離変化をあらわしています。火山活動に伴う地殻変動があればこのグラフに変化があらわれます。